

きずな 賀春

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター
健康で 楽しく 幸せに

2024.01

Vol.045



目次

- 年頭のご挨拶
- 令和5年度の前期(4月~9月)実績
- 理事・監事の立候補について
- 新春対談 五十嵐つくば市長・小杉センター理事長
- センター各部門の報告
- 女性限定入会説明会
- 子育て支援ルームきずな
- 自転車部
- 新入会員セミナー
- 趣味・スポーツ・健康・食
- 歴史に学ぶ 真田幸村
- 静岡県三島市シルバー人材センターが来訪

〈年頭のご挨拶〉

【小杉理事長】



明けましておめでとう
ございます。

昨年は、3年間苦しめ
られた、コロナ禍がワク
チン接種による効果及び、

5月からの感染症法の類型が第5類に引き下げ
られ、ようやく終息へと向かいました。それに
伴い、シルバーの地区活動は活性化し、6地区
合同のグラウンドゴルフ大会・BBQ大会等の
開催及び4年ぶりの「まつりつくば」・「くまざ
きまつり」での女性活躍委員会の小物・野菜
販売による参画をしました。そして、同好会は
「カラオケ」・「生き生き体操教室」・「ガーデニ
ング」等が新規に発足し、会員の皆様の生きが
いの一助となりました。

コロナ禍により中断していた「就業開拓委員
会」が、2年半ぶりに復活いたしました。特に、
今般「つくば市工業団地企業連絡協議会」の事
務局となっている「つくば市経済産業振興課」
の紹介により「9工業団地」百数十社の開拓が
可能となり、10月から全理事と就業開拓委員が
一斉に個別訪問を開始しました。（成果は、次
回ご報告します）

また、総会・部会・各委員会・各研修等も無
事開催できましたことは、ひとえに、皆様のお
陰であると厚くお礼申し上げます。

今年の干支は、辰年（甲辰・きのえたつ）で
す。運勢は、自由気まままで脱線しやすいといわ

れています。自我を抑えて勤勉にとめれば、
発展する運勢を持っています。まさに、「コロ
ナ禍」で苦しめられた当センターの年です。魅
力あるセンターを目指して、全員が一丸となっ
て頑張っていきたいと思います。

最後に、今年も皆様にとって、ますますご健
康で明るい1年でありますように、心よりお祈
り申し上げます。

〈令和5年度前期（4月～9月）実績〉

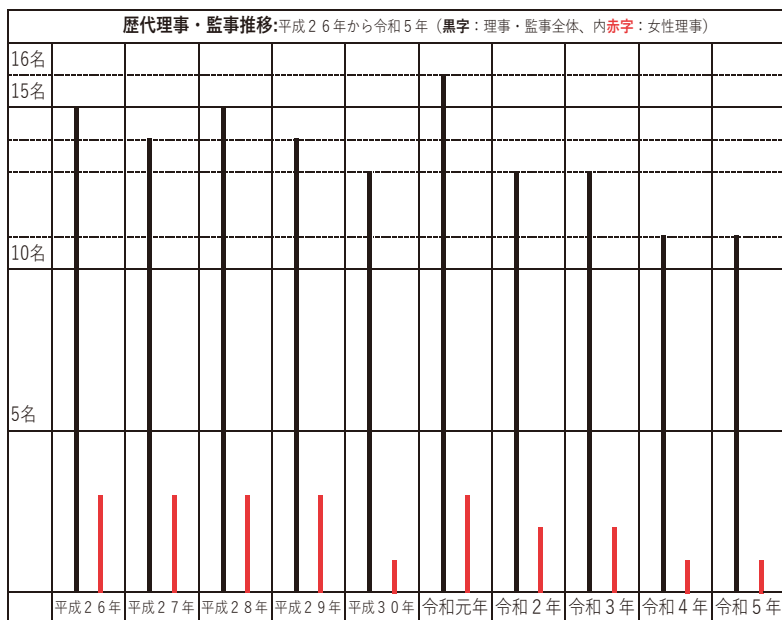
令和5年度前期における実績を表1に示しま
した。

この表1から、会員数の推移は、令和4年度
と比較して微増（8名増）となっております。し
かし、令和5年3月末は、男女合計が584名
でしたので、3月末比、56名の増加でした。こ
れはコロナ禍の収束による入会説明会の参加者
増が大きな要因と思料
されます。今後は、引
き続き入会説明会を大
幅に増加させ（定例・
出張・女性限定）且つ
新入会員紹介制度の活
用・悠々会員制度を充
実させ、早期に800
人体制を目指してい
く
必要があります。

次に、事業収入で
は、令和4年度に比べ
請負・委任事業が増加

表1 令和5年度前期の実績（4月～9月）

	令和4年9月	令和5年9月
請負・委任（千円）	65,790	68,369
派遣（千円）	94,450	86,394
合計（千円）	160,240	154,763
会員 男（人）	425	425
会員 女（人）	207	215
合計（人）	632	640



〈理事・監事の立候補について〉

今年度は、理事・監事の改選時期です。是非、
理事・監事の立候補をしましょう。

今年度および昨年度は、理事9名・監事2名
の11名ですが、特に、理事9名は過去10数年来

し、派遣事業が低下しました。派遣事業の低下
は、最低賃金の引上げを機に直接雇用へ切り替
えた企業が十数社発生したことが最大の要因で
す。今後は、就業開拓を更に徹底して派遣事業
の対象先を増加させる必要があります。

（理事長 小杉晴彦）

（注）きずなの中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

の最少人数です。シルバー人材センターの基本理念は、「自主・自立」「共助・共働」です。自らの組織を会員自らが守り、みんなで育てることを唱っております。従って、理事・監事になって、個々の役員会で多種多様な意見を出し合い、論議し、決定したらそれを遵守することが大切で、皆さんのセンターです。センターを守り、伸展させるのは、皆さんです。そして、一人でも多くの方が立候補するよう、宜しく御願ひ致します。特に、女性理事の1名体制が続いています。女性理事の立候補も併せて御願ひ申し上げます。(理事長 小杉晴彦)

〈新春対談〉

〔五十嵐市長・小杉理事長〕

コロナ禍以降、はじめての新春対談です。

〈小杉理事長〉はじめに、市からいただいたご協力の2件について、お礼を申し上げます。1. 新規就業先(派遣業務)開拓について、市産業振興課様のご協力により、センターの就業開拓員による9工業団地、156社の個別訪問が実現し、今期のみならず来期の期待材料となりました。2. センターの独自事業として、自転車の修理やリサイクル自転車販売をおこなっておりますが、市公園施設課様のご協力で不要自転車100台を調達できるようになりました。

「業務の受注」について、これまで、つくば市役所様から様々な業務を受注させて頂いております。今後ともより一層のご愛顧を賜りますよう、宜しく御願ひ申し上げます。

〈五十嵐市長〉センターにはさまざまな業務を御願ひしており、それが市民のためになっていくことに感謝申し上げます。リサイクル自転車については、資源の有効活用ということで、持続可能な街づくりに貢献していただいています。また、児童館や老人福祉センターの清掃、健康診断受付などの業務も御願ひしており、今後もみなさんの生きがいや健康維持につながるようさらに取り組んでいきます。

〈理事長〉「生涯現役」について、超高齢社会の我が国においては、長年培った高齢者の知識・経験の積極的な活用や、年齢に関係なく生き生きと働ける「生涯現役社会」の構築に向けた環境の整備が、今後の大きな課題と考えますが、市長のお考えをお聞かせください。

〈市長〉つくば市の65歳以上の高齢化率は令和5年10月1日現在で19.2%と低いのですが、



地域によっては高いところもあります。市では、電動アシスト自転車補助や文化芸術事業補助など、高齢者の外出機会を増やすような事業に取り組んでいます。人生100年時代、豊富な経験や知識を活かし、活躍していただ

けるよう、シルバー人材センターの皆さんには、高齢者が外に出て働き、収入を得るモデルとして、活躍していただきたいと思っています。

〈理事長〉センターは、会員の特性やニーズに見合った就業を通じて、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上や活性化に貢献していると自負いたしております。今後も市や関係機関と連携し、一人でも多くの高齢者に会員となつていただくとともに、「持続可能な地域福祉の実現」に取り組んでいきたいと考えておりますので引き続き、ご支援を賜りますようお願いいたします。

〈市長〉センターの会員がコロナ時期に比べて回復しつつあると聞いているので、会員数がどんどん増えて、仕事も増えれば非常にうれいすね。

シルバー人材センターのことを、たくさんの人に知ってもらえるよう協力し、今後も、高齢者の皆さんにご活躍いただけるようセンターと連携を深めていきたいと思ひます。よろしく御願ひします。

〈新年のごあいさつ〉

あけましておめでとうござひます
本年もひきつづきご協力を賜りますよう
御願ひ申し上げます



公益社団法人つくばシルバー人材センター役員一同
事務局長および事務局職員一同

〈センターの活動報告〉

【理事会】

9月～11月、令和5年度第7回～9回の理事会を開催し、諸案件が報告、協議されました。また、総務部会・事業部会・地区統括部会及び各委員会等の報告並びにそれぞれの承認事項について協議されました。

その他、主たる承認事項等

- (1) 令和5年度第1回補正予算案について
- (2) 工業団地(9団地)理事・開拓員合同開拓
- (3) 独自事業のインボイス対応について
- (4) 未就業会員へのアンケートについて
- (5) ICT分科会対応について
- (6) 中期事業計画のブラッシュアップ
- (7) 三島市SC視察研修について
- (8) 女性限定入会&メイク講習について
- (9) 各月の新入会員(審査結果)について
(理事長 小杉晴彦)

【事業部会】

事業部会の課題…本年度の新規入会者数は、退会者数に対して微増傾向にある。事業部会の



二大事業である派遣事業と請負事業について、派遣事業は理事長以下就業開拓委員会の努力により就業先は拡大している。しかし、就労者が求める仕事内容が希望と一致せず新規就労が進まない状

況にある。一方請負事業についての市場は拡大しているが、会員の高齢化と新規会員の就業が進まず、歯痒いばかりである。喫緊の課題として、需要と供給のバランスを確保するため、理事・事務局が一体となり、新規会員のヒアリング等を行い課題解決に向けて対策を講じることが必要である。(酒井)

【安全委員会】

委員会の目標は常にゼロ災害です。しかし、「言うは易し、するは難し」。思わぬ事で事故は起きます。「経験」という慢心が原因の時もあります。安全作業優先と言いながら基本に沿って仕事をするのは、どんな職種でも結構面倒な事ってあります、が「急いては事をし損じる」ということですね。あの時「も少し」注意していれば良かった、とか「廻りを良く確認していれば」とか後から考えればほんの一瞬の隙が仇となってしまう、いくら悔やんでも「後の祭り」。どうぞ今日も一日「安全に」。(張元)

【女性活躍委員会】

令和5年11月15日、女性のみなさんを対象にした「女性限定入会説明会」が市民ホールやたべで開かれました。これはセンターが男女を問わ



ず、一般市民を対象に定期的に行う入会説明会とは別に、今年度に2回行う予定の第二回目です。この日の参加者は十名でしたが、全員がセンターの仕事や活動について、もつと詳しく知りたいという真剣なやりとりをする姿が印象的でした。

【地区統括部会のこれまでとこれから】

地区独自の企画もバラエティに富み、さらに複数の地区が合同で企画したり、地区にとらわれないオープン企画もあつたり、横のつながりが期待できる状況です。課題はイベントに参加する方々がいつも同じ顔ぶれで新顔が少ないことです。新旧を問わず会員の皆さんは自分に合ったイベントがあれば勇気を出して参加してください。人と交流すると、影響を受け、影響を与え、これまでになかった考えに気づくことがあるかもしれません。ぜひ多様なイベントに参加してみて、充実したシルバーライフを楽しんでください。(寺田)

【総務部会】

令和5年度前半は、LINE WORKSへの取り組み、新入会員向けと3&6年向け接遇力アップ研修講習会、初心者向けスマホ講習会、カラオケ同好会、ガーデニング同好会、更に生き生き体操同好会などの実施が実現しました。注目すべきは、総務部会全員全員をネットワークで結ぶLINE WORKSであり、このICT化により会員の情報の共有化と、事務処理の効率化が格段に改善される事です。将来的にはシステムのICT化更にはDX(デジタルトランスフォーメーション)を視野にいたれた展開が期待されます。(土田)

〈独自事業〉

【子育て支援ルームきずな】

『いばらき県シ連だより』の取材で、施設長の小倉さんがインタビューを受けました。

子育て支援ルームきずなの創立から今までの経過です。きずなを立ち上げた理由は、小倉さんが病院に行ったときに、出会った女性が連れてきた子供の世話に手がかかり、診察を受けるのに困っていたことが、きずなを立ち上げた要因でした。市役所や事務局に支援をお願いした結果、きずなを立ち上げることができました。

困っていても頼りになる人が居ない時に、子供を預けるところがあれば、困ることなく病院にかかる事ができます。立ち上げてから多い時間で年間に900人くらい預かった事もあります。子供が好きなので苦になりません。小さい子供からパワーを貰って若さを保っています。これからも10名の会員と共に、子供さんを預かっていきます。



【自転車部】

自転車の修理に来たお客様に聞きました。

1人目はパンク修理に訪れた方で、社会人の男性で福崎様です。



① Gちゃり君をどこで知りました。インターネットです。②修理をGちゃり君に選んだ理由は。家の近くで直ぐに修理をやってくれるから。③仕事の出来栄はいかがですか。良くて早いです。④料金はいかがですか。安いです。⑤Gちゃり君に要望はありますか。特にありません。



2人目の方は、子供さんの自転車の修理に訪れた河津様です。①から⑤迄同じ質問をしました。①インターネットで検索しました。②他の自転車屋さんは予約が必要だが、Gちゃり君は持ち込んで、すぐに修理していただけです。③丁寧に修理、説明していただき満足しています。④安くてありがたいです。⑤特にありません。今後もお客様に支持されるGちゃり君である様に、丁寧な仕事を心がけます。

(自転車部一同)

〈お問い合わせ〉

【子育て支援ルームきずな】

つくば市谷田部老人福祉センター2階

☎070-1457-6062

【自転車部】

つくば市吾妻1-2-5 「南」立体駐車場出口

向かい側

☎090-7801-1043

営業時間10時～18時

【新入会員インタビュー】

コロナウイルス感染症騒ぎ以降も、本会に入会して仕事に従事している女性会員が多くおられます。みなさんの入会の動機やどのような仕事に従事しているのかなどを、令和5年10月23日、つくば・土浦を拠点とする地域メディアの特定非営利活動法人「NEWSつくば」の田中めぐみ記者が二人の会員をインタビューしました。その興味深い内容が、同社のネット(<https://newsukuba.jp>)で報告されているので、ぜひご覧ください。インタビューを受けた



女性会員は、青木会員と工藤会員、いずれも別々の交流センターに就業中ですが、センターの友人ができたし、人生に張り合いが生まれたとしみじみと語っておられたのが印象的でした。

《仕事と学び》

【新入会員セミナー】

令和5年度第1回目の新入会員向けセミナーが昨年10月17日行われ、おなじみの宝田佳永子



講師をむかえて、新入会員27名が参加しました。会員の仕事上、必要とされる大切な接遇力向上をめざした研修であり、その後はグループワークとディスカッションの発表です。

【リフレッシュ講習会】

センターには、入会3年目と6年目の会員を対象にしたリフレッシュ講習会があり、令和5年度第一回目は「接遇力向上」をテーマに、令和5年10月26日に開催されました。前半は宝田



認識させられた講義でした。

講師による接遇講習。後半は四班に分かれてグループワークです。日ごろは仕事や生活に流されて、ともすればおろそかになりがちなコミュニケーションの大切さを、あらためて

【草刈り班】

茎崎の各団地内にある多くの公園では、毎年定期的に草刈り作業が行われ、センターの会員たちが作業に従事しているのです。令和5年うんざりするような猛暑が続いた夏から秋、地区内の公園で草刈り作業が行われていました。会員のみなさんは、熱中症予防のために休憩と水分の補給を欠かさず、作業場所に合わせて、小石の跳ね防止のためにネットを展張して回るのです。朝8時、すでに猛烈な暑さの中での作業。お疲れさま！



【くわがわ夢まつり】

令和5年10月29日、茎崎運動公園において、「くわがわ夢まつり」が4年ぶりに開催されました。令和2年以降、コロナ禍で中止を余儀なくされ、待ちに待った夢祭りでした。しかし、当日は早朝から雨天模様でしたが、午後からは晴れ間がのぞき、子供たちのダンス、茎崎音頭の踊りなど、賑やかに披露されました。つくば市シルバー人材センター茎崎地区として、物販ブースで陶器、水墨画アート、女性会の小物作品、無農薬野菜等を準備しました。雨天で販売に苦戦しましたが、会員の結束力を高める機会になりました。次回に期待を込めて無事、終了となりました。(村野)



〈楽しんでいきます〉趣味・スポーツ・健康・食

【谷田部地区】

令和5年9月22日フォンテーヌの森でBBQ大会が開催されました。当日は雨模様でしたが、15名が集まって、楽しいBBQになり、最後はビンゴゲームで大いに盛り上がりました。



【荃崎地区 活動報告】

令和5年9月30日、荃崎地区では、アダプトパーク（環境美化）の取り組みとして、中山公園と稲荷原公園清掃を実施した後、会員の交流を深めるため、「荃崎こもれび六斗の森」において、バーベキューを開催しました。アダプトパークは9時の集合でしたが、30分前から集まり始めた会員は、清掃道具が到着すると、清掃を始める入れ込みでした。一通り、ごみを拾うと植え込みにツタが絡まっていたのでツタを落とし、植え込みをすっきりさせました。

11時から、荃崎こもれび六斗の森において、バーベキューで会食しながら交流を深めました。

バーベキュー交流会は、この3年間コロナ禍でなかなか実現せず、久しぶりの会食が実現しました。交流会に初参加の新人会員による現職時代のトークでは花がさき、会社を退職後、話し合う機会が少なく、今日のような交流の場をひとえに喜んでくれました。また、いつものベテラン会員は元気に参加し、火を焚きつけたり、野菜を切ったりとスムーズな運営に取り組んでくれました。総勢16名の参加で1時半ごろ、無事、終了です。お疲れ様でした。（村野）



【生き生き体操同好会】

センターの同好会の発足、活動が相次ぐなか、生き生き体操同好会も令和5年11月22日



発足し、第1回目が大穂交流センターで行われました。本日の参加会員は7名。つくば市の保健センターに属す

る保健師さんが2名、体操のインストラクターさんが1名という心強いメンバー構成です。インフルエンザとノロウイルス対策の話も、座ったままでの無理をしない運動も高齢者にはたいへんありがたい企画だったので、次回からもっと多くのおみなさんで参加しましょう。

【食と健康】

市民の健康づくりのために、食生活改善運動を地域の中で推進しているボランティア団体の「つくば市食生活改善推進員協議会」（推進員の愛称はヘルスマイト）が活動しています。今回はシルバー会員のために、「糖尿病予防のための食事」という食育講習会が、令和5年9月30日豊里交流センターの調理室で行われました。受講者は、センター会員16名（女性12名、男性4名）。今回のメニューはテーマにぴったりの「鯖の味噌煮」、全員参加の料理作りとなり、最後は美味しくいただきましたが、「心と体の健康は食事が基本」を体感させられました。



〈歴史に学ぶ〉

真田 日の本一の兵

通称「幸村」として知られる真田信繁（1567-1615）は、機略縦横の真田昌幸の次男として生まれました。1600年関ヶ原の役で西軍に加わった親子は、敗戦で紀州九度山へ蟄居に追い込まれ、1611年昌幸が死去。1614年11月冬の陣勃発。九度山を密かに脱出した幸村は大坂城の外に出城「真田丸」をきずき、奮戦して敵を悩ましたのです。結局、徳川ベースを強いられた和議交渉で堀が埋め立てられ、大坂城は裸城と化したのです。翌年、徳川側はまたも無理難題を豊臣側にふっかけて開戦にもちこみ、敗戦必至の状況下、赤備えの幸村隊は家康本陣めざして決死の突撃を敢行しました。次の話で、幸村への称賛ぶりがわかります。夏の陣後に鳥津家の主筋と思われる人による国元への報告と伝えられるのが、「五月七日に、御所様（徳川家康）の御陣へ、真田左衛門（幸村）仕かかり候て、後陣衆（家康の旗本たち）追ひちらしく三度目に真田も討死にて候。真田日の本一の兵、古よりの物語にもこれなき由」。8日、大坂城炎上。（山内）



〈トピックス〉

静岡県三島市シルバー人材センターが来訪

令和5年11月28日、わがセンターを訪問されたのは、静岡県三島市シルバー人材センターの渡邊郁男理事長、高梨智副理事長および11名の役員と事務局職員2名による視察研修団のみなさんです。出迎えたのは、小杉晴彦理事長および役員、事務局職員たちです。挨拶とお互いの自己紹介ののち、協議事項として、両市の概要、両センターの運営状況のあと、活発な質疑応答が行われました。興味深かったのは、地域による特性はあるものの、会員数、就業、会員の高齢化、女性役員の確保などうなずける課題とか、羨ましく感じたことなど、得るところの多かった交流でした。



「事務局からのお知らせ」

○シルバービューティーアップセミナー
美容専門家によるメイク方法の説明・アドバイスを受け、各自でメイクを行うとともに、シルバー人材センター入会ガイダンスも行います。

日時…令和6年2月28日(水)

13時30分～16時30分

場所…ホテルグランド東雲

主催…(公社)茨城県シルバー人材センター連合会

共催…(公社)つくば市シルバー人材センター

対象…市内在住の60歳以上(令和6年3月31日現在)の女性で、新たに入会し

て就業する意欲のある方

定員…先着20人

お申込…電話申し込み

(2月20日(火)まで受付)

お申込(問合)TEL 029(879)5199

(入会説明会・審査会)

毎月第2木曜日 13時30分

大穂庁舎3階シルバー会議室

月日	時刻	場所
1月23日(火)	13時30分～	《谷田部地区》 市民ホールやたへ
2月13日(火)	13時30分～	《桜地区》 桜総合体育館
2月22日(木)	13時30分～	《茎崎地区》 茎崎交流センター

【表紙の写真】

昔から栄養豊富で医者いらずと言われる柿。令和5年11月、市の郊外で撮影。

D7000 17～50mm オート

